

令和4年度（2022年度）

管理事業名	千里山駅周辺整備事業			総合計画 の体系	大綱 6	都市形成	
					政策 1	みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり	
					施策 2	良好な住環境の形成	
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 8	土木費	(項) 5	都市計画費	(目) 8	千里山駅周辺整備事業費
部局名	土木部	予算執行 所属	地域整備推進室				
事業の目的と概要 【目的】 ・踏切の安全性、駅前都市機能の不足、都市計画道路の未整備、千里山団地の老朽化という地域課題の解消を目指す。 【概要】 ・駅前踏切を車両通行禁止とし、振替道路である千里山跨線橋線を整備する。 ・駅東側においては、自転車駐車場、コミュニティ施設、駅前交通広場、都市計画道路等の整備を都市再生機構団地建替えと総合的、一体的に行っている。駅西側においては、駅へのアクセス道路の歩道整備などを行っている。							

I 成果指標（活動指標）

指 標 名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	指 標 の 定 義
全体事業費に対する執行事業費の割合	%	100.0	100.0	100.0	(執行事業費累計/総事業費)
道路整備完了延長	%	100.0	100.0	100.0	(道路整備完了延長/道路整備予定総延長)

II 活動実績・成果

<p>【成果指標1】全体事業費に対する執行事業費の割合 【成果指標2】道路整備完了延長 ・千里山駅周辺整備事業では、駅西側を中心とした都市再生整備計画に基づき、平成30年度（2018年度）に駅西側の道路改良工事等が完成し、予定していた工事は全て完了した。 ・令和元年度（2019年度）は、当該事業の成果等を客観的に判断し、住民へ分かりやすく説明することを目的とした事後評価を実施した。 ・令和4年度（2022年度）は、償還金の支払を行った。</p>	
--	--

III 課題と今後の取組

--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位:千円)

勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	58	65	7
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	58	65	7
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	7,976	-	△7,976	その他流動負債	-	-	-
土地	7,976	-	△7,976	固定負債	580	582	2
建物・工作物	-	-	-	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	580	582	2
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	638	647	9
建物・工作物	-	-	-	純資産	7,338	△647	△7,985
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-	純資産の部合計	7,338	△647	△7,985
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	7,976	-	△7,976	負債及び純資産の部合計	7,976	-	△7,976

◆行政コスト計算書【PL】

(単位:千円)

勘定科目	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常収入 小計(a)	-	-	-	-
給与関係費	750	730	714	△16
物件費	-	-	-	-
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	18,908	18,908	18,908	-
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	66	58	65	7
退職手当引当金繰入額	△5,575	36	54	18
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	14,148	19,732	19,741	9
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△14,148	△19,732	△19,741	△9
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△14,148	△19,732	△19,741	△9
一般財源充当額	20,375	19,753	19,732	△21
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	6,227	21	△9	△30

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位:千円)

区分	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	-	-	-	-
行政サービス活動支出	20,375	19,753	19,732	△21
行政サービス活動収支差額	△20,375	△19,753	△19,732	21
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△20,375	△19,753	△19,732	21
一般財源充当額	20,375	19,753	19,732	△21
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特微的な事項

勘定科目等	特微的な事項
【PL】 負担金・補助金・交付金等	UR都市機構 長期割賦返済金 18,908千円

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市民一人当たりのコスト	コスト 38円 実績 376,994人	52円 378,781人	52円 381,238人
事業面積当たりのコスト	コスト 109円 実績 130,000㎡	152円 130,000㎡	152円 130,000㎡

分析内容
・市民一人当たり52円のコストがかかっている。
令和5年3月31日現在の吹田市人口で算出している。
・事業面積1㎡当たり152円のコストがかかっている。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	833	-	0.10
会計年度任用等	-	-	-
特別職非常勤	-	-	-
合計	833	-	-

分析指標

分析指標	年度	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		-	-	-	-
施設維持補修費比率		-	-	-	-
経常費用対公共資産比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		-	-	-	-
一般財源充当比率		100.0	100.0	100.0	0.0